

目指すゴール



Nittoグループは、地球環境、人類と社会をお客様と捉え、持続可能な未来と幸福のためにチャレンジし続けます。

そのために「サステナビリティの重要課題(マテリアリティ)」を特定し、「イノベーションの創出」と「経営基盤の強化」の2つのアプローチにより取り組んでいます。新たに各課題に対する「2030年のありたい姿」を描き、達成目標を明確にし、KPIによる管理を進めます。

特に豊橋事業所では、経営品質向上のための「人材の確保・育成」、「製品の安全性・品質向上」、「CO2排出削減」や「エネルギー・原材料・水などの効率的利用」に力を入れ、全員で一丸となって取り組んでいます。

サステナビリティ重要課題

イノベーションによる価値創造

- ・スマート社会に向けた基礎の整理
・交通渋滞・交通事故の低減
・交通弱者に対する公共交通サービスの提供
- ・再生エネルギーの普及・省エネの推進
・プラスチック・金属・水・カーボンなどの循環促進
・大気・水質・土壌の汚染防止
- ・健康長寿の支援
・すべての人への医療・介護サービスの提供
・地球規模での感染症の抑制

価値共創のための経営品質向上

- ・人材の確保・育成
・ダイバーシティ&インクルージョン
- ・製品の安全性・品質向上
・労働環境の改善
・サプライチェーンにおける人種の尊重
- ・CO2削減
・エネルギー・原材料・水などの効率的利用

Nittoグループが目指すもの

該当するSDGs

・安心で利便性の高い生活	11
・持続可能な循環社会	6, 7
・健やかな暮らし	3
・多様な人材が活躍できる風土	5, 8
・安全なモノづくり	12
・環境にやさしいプロセス	13

サステナビリティ重要課題に対するリスクと機会の分析、および各課題に対する取組み計画の細分化
(Nittoグループ統合報告書2021より抜粋)

SDGsの取組み紹介

再生可能エネルギー『太陽光パネル設置』

CO2削減目標の達成に向けて、太陽光発電が設置が進められています。

全8か所、約1,800MWh (400世帯分)の発電がされ、環境に優しい工場へ着実な一歩となっています。



生産工程から出る廃棄物の徹底した再利用

マテリアルリサイクルを実現し、持続可能な社会に貢献すべく、豊橋事業所では2003年に『再資源化センター』を設立しました。

生産工程で発生した様々な廃プラを細分化することで、プラスチック材料としてのリサイクル活用を促進しています。

(写真は東京オリンピック・パラリンピックの選手村の食器として採用されたリサイクル材料を使用したお皿)

